

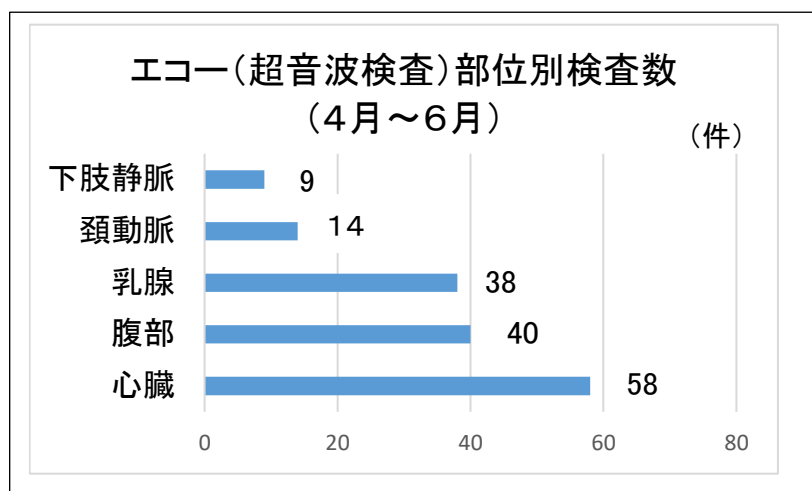
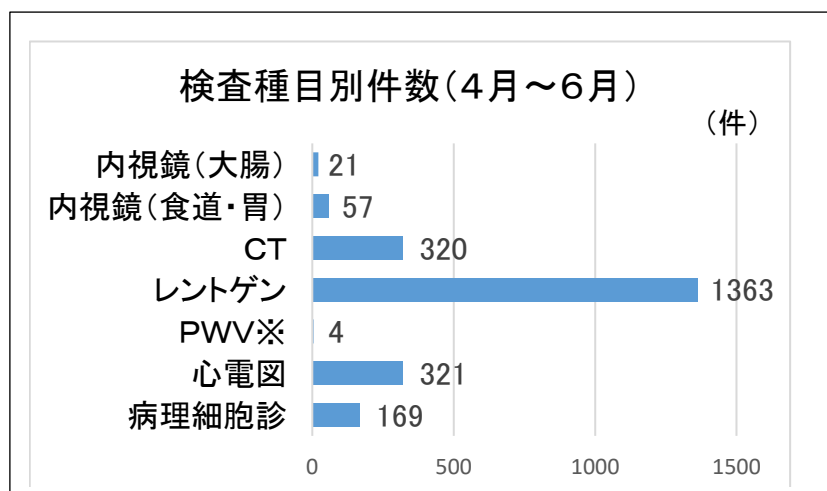
診療情報：町立病院の使い方について

町立病院では「地域に親しまれ信頼される病院」を理念として、患者さん一人ひとりのニーズに対応した安心・安全な医療を提供できる病院づくりをめざしています。外来には7つの診療科目があり、総合診療科、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、心療内科、リハビリで診療を行っています。入院については、2階病棟（一般病床）は総合診療科、整形外科、眼科、3階病棟（地域包括ケア病床）では総合診療科と整形外科があり、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・作業療法士・臨床検査技師・診療放射線技師・社会福祉士・介護士・医療事務など多職種によるチーム医療を行っています。

今月は、外来と病棟の診療情報から病院が住民のみなさんにどのように使われているかをお伝えします。

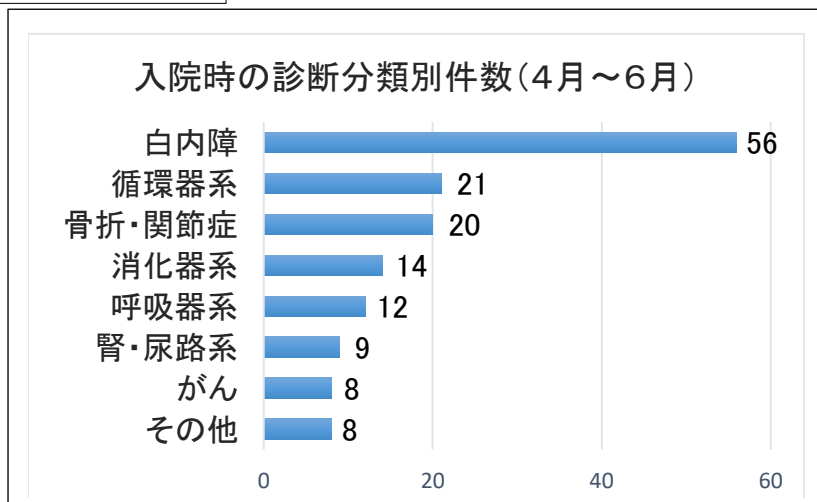
外来で行われている主な検査

診断に用いる主な検査として血液検査以外にレントゲン、CT、心電図、エコー、内視鏡などがあります。



※PWVは心臓から出た脈が動脈を伝わっていくスピードを測定する検査で、動脈の硬さを推定します。

病棟の入院状況



疾患には季節的な影響があります。冬季もお知らせします。

入院件数がいちばん多い疾患は白内障です。これは白内障手術後の一泊入院で、ほとんどの方が片目ずつ2回の入院を利用するためです。

次いで多いのは、慢性心不全や急性心筋梗塞などの循環器系疾患、骨折・関節症となっています。入院患者さんの平均年齢は約81歳で、高齢者が多いのが特徴です。

平均在院日数は、2階病棟 17.81日（眼科を除く）、3階病棟 31.1日です。入院時より保健・福祉・介護の担当者と連携して、安心して退院できるよう多職種で支援しています。

外来からのお知らせ

令和元年7月25日現在

休診

耳鼻咽喉科：8月 1日（木）水足Dr.	眼科：8月19日（月）沖坂Dr.
総合診療科：8月 9日（金）山下Dr.	総合診療科：8月26日（月）黒沢Dr.
眼科：8月13日（火）竹内Dr.	耳鼻咽喉科：8月26日（月）塩谷Dr.
耳鼻咽喉科：8月15日（木）水足Dr.	総合診療科：8月28日（水）内田Dr.

※受付、外来、会計では、誤認防止のため氏名でお呼びしております。
不都合のある方は番号でお呼びしますので、受付職員にお申し出ください。

28 《 体にも心にも栄養を・・・ 》

7月には本当に雨の多い、というか陽の照らない1ヶ月でした。暑いのもいやですが、いつも曇っているというの、なんだか気分が滅入ってきます。暑くてもいや、寒くてもいや、雨が降ってもいや・・・人間って勝手なものですね。

さて、先日レッドアローに乗っていると、横瀬駅から20代と思われる青年が乗車してきて私の隣に座りました。おもむろにコンビニで買ってきた冷やし中華を開け、食べようとしています。ラップを開けふたを外し、具を入れてつゆをかけ、さあ食べるかと思われたその時でした。青年は両手を合わせ丁寧にいただきますとお辞儀をしたのです。その姿にちょっと感動してしまいました。そして、高知県の山奥の自宅で、88歳で旅立ったMさんを思い出しました。

病院嫌いのMさん。あるときめまいがするとのことで息子さんから往診依頼がありました。初めてお会いしたMさんはすでに貧血がかなり進んでいました。精密検査は希望されませんでした。黒い便がしばらく続いていること、腫瘍マーカー(CEA)が900以上と異常高値であったこと、お腹の診察などから末期の胃がんであると思われました。年が明けてほとんど食べられなくなってからは頻回に訪問診療に伺いました。だいぶ弱ってきたなと思われましたが、Mさんはいつもにこにこ笑顔で、私の手を握ってください、「ありがとう、痛いところはない」と、毎回両手をあわせて深々と頭を下げてくださいました。

雪が40cmほど降った1月末のある日の夜、息子さんから「息をしなくなった。夜の8時25分亡くなったみたい」と連絡を受けました。

凍った山道をいつもより慎重に車を走らせ、午後9時前にMさんの家にたどり着いたときには、ご家族は全員集合し近所の方々も集まっていました。最後の診察、死亡確認をさせていただいたときには、Mさんを取り囲んだ皆さんには笑みがありました。そしてなぜか私は帰りの車の中で涙が出てきました。普段病院で看取った際には、私が亡くなった時間を告げ、家族は泣き、私は部屋を出ます。でもこのときはすべてが逆だったのです。家族から旅立った時間を教えられ、家族には笑みがあり、私が泣く。いつも手を合わせてくださったMさんの顔は今でも思い出ことができます。

その日の天気や身の回りに起こることに振り回されず、毎日食べられることだけでも感謝しながら今月も頑張りたいですね。体にも心にも栄養をつけながら・・・。

院長 内田 望